



# 全日本トライアスロンクラブ会報

2014年 1・3月合併号

ATC-HP : <http://atc-triathlon.com/html/> E-Mail : [swim.bike.run-aoki@ezweb.ne.jp](mailto:swim.bike.run-aoki@ezweb.ne.jp)

事務局 : 〒140-0014 東京都品川区大井1丁目52番5号 留守番/FAX : 03-5709-5599

## ☆ 第29回 全日本トライアスロンクラブ通常総会 ☆



クラブの一年間の活動報告と予算実行の会計報告の承認を得る事と、来年の行事予定と予算案の承認を得る為の、団体としての重要な総会が1月19日(日)品川駅前の品川プリンスホテル、メインタワー12階のシルバーの間で夕方5時30分より行われた。

第1号議案の平成25年度活動報告が、事前に会員に郵送されている総会資料の内容を読み議場に説明した。第2号議案の会計報告と監査報告も発表されて承認された。平成26年の活動計画案と、それ等を実行する為の予算案が報告されて議場にて承認された。

続いて「役員は無報酬とする」「借入金は0円とする」との議題も承認された。以上「第1号議案」から「第6号議案」が上提されて承認された。〔3項の議事録参照〕

## ☆ 平成26年度新年会 ☆

総会に続いて同会場にて新年会が行われた。司会者による開会があり会長挨拶が行われた。引き続き、昨年ハワイ大会初参加、初完走の徳永律さんによる乾杯で会食へと移っていった。

丁度夕食時となり、空腹の会員達、午前中にマラソン大会に参加した会員達などで、フランス料理、中華料理、お寿司、パスタ等がテーブルから参加者のお腹へと移った。食べている人達、食べないでビール、ワイン、清酒等を味わっているグループに分かれていた。会員達が食べだすとテーブルの上の料理達の大皿が次々に軽くなり、ケーキとコーヒーでお腹が落ち着き一段落したので、恒例のビンゴゲームに移った。

練習用のウエア、パンツ、シャツ、スイムウエア、ホテルパン、サプリメント、手袋、靴下、等々がテーブルの上に並んでいた。又、合宿参加費、佐渡大会、洞爺湖大会、宮古島大会、つくばマラソン大会、東京マラソン大会の完走援助費賞が発表され、ビンゴが完成した順で会員達が確保していった。30分程経過すると殆どの賞品が会員達に分配されて行った。最後にキャリーバッグと西陣織とイタリヤの高級ネクタイが希望者によるジャンケン大会で勝者に与えられた。

ビンゴ大会が終わり新年会初参加者のスピーチがあり、次いで昨年の自慢のレース展開や、ウルトラマラソン完走レース模様、今年の初挑戦の抱負等の話があり、会場に「ヤジ」や「激励の拍手」で盛り上がった。この様にして2時間にわたった新年会が集合写真を撮ってお開きになった。

## ☆ 合宿 ☆

今年もシーズン始めとして、又、宮古島大会対策用として3月末と、シーズン中間の6月と、真夏対策としても佐渡大会用として8月の3回合宿が行われます。一人で練習している会員の方々、自分と違う人と、速い人、遅い人との練習をしてみてください。

バイクコースは伊豆半島と房総半島で車の量が少なく、坂道が多くあり、走りごたえのあるコースを用意してあります。

## ☆ 360分走 ☆

12月8日(日)に第19回360分走が行われた。フルマラソンの42kmから100kmラン、246kmランや山岳ランのウルトラマラソン等に参加者が多く集まり、人気の大会では超ロング大会でも1日で定員になり参加が難しく、又、経歴や他のロング大会での時間や完走記録が無いとエントリーも出来ない大会が現実です。

360分走は6時間を1km6分のペースで走る感じを体にしみ込ませて、60kmを完走する模擬練習です。前回は7名が60km越えをしました。今回は12名が60kmを記録しました。彼らは100kmランを十二分に完走できると思われる。そして大会タイ記録の75kmが2名あり、新記録の80kmが出ました。

## ☆ 宮古島大会 ☆

今回30回の記念大会なので応募者が多く競争率が激化して会員達の合格者は例年の3分の2程度と少なくなった。合格者は落選者の分迄しっかりと楽しく完走して下さい。又、大会までの間、練習等でケガをしない様に、又、仕事の都合で参加が出来ない事が無い様に祈っています。

## ☆ 会員継続のお願い ☆

「2014-01」「2014-02」「2014-03」の方々は今2013年の1月、2月、3月が会員資格の有効期限です。郵便振替や銀行振込みで会費の納入をお願いします。





司会者



会食開始

新年会風景





# 【 第 29回 通 常 総 会 議 事 録 】

1. 総会の種類 第29回通常総会
2. 招集通知日 平成25年 11月15日
3. 開催日時 平成26年 1月19日(日)午後5時30分
4. 開催場所 東京都港区高輪4丁目10番30号  
品川プリンスホテル  
12階『シルバーの間』
5. 会員総数 124名 (過半数63名)
6. 出席者数 93名  
本人出席 33名  
委任状出席 60名

## 7. 議長の選任の経過

定刻に至り、司会者 高木清氏が開会を宣し、続いて会長の中林政代氏が挨拶した。

本日の通常総会は定足数を満たしているので、有効に成立する旨の出席状況報告を司会者が告げた。

続いて、議長の選任を諮ったところ、司会者一任との声があり、他の異議がないので司会者は、増野正樹氏を議長に指名し、議場に諮り満場一致をもって増野正樹氏を議長に選任した。

## 8. 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果

### 第1号議案・・・平成25年度活動報告承認の件

議長は、始めに平成25年度活動報告を直修司氏に求めた。指名を受けた直修司氏は、別紙の活動報告書を抜粋朗読し、合同練習会、傷害保険、合宿、会員の参加大会の成績、クラブ主催の大会、会報の発行、会員名簿の発行、理事会の開催の報告を説明した。

議長は、その承認を議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

### 第2号議案・・・平成25年度会計報告承認の件

議長は、平成25年度会計報告を吉田幸代氏に求めた。吉田幸代氏は当期の総収入額 1,632,420円。総支出額1,294,430円で、次期の繰越金は945,770円となり、その内訳は、ゆうちょ銀行品川店の銀行預金として945,770円であること。

続いて、収入の部の主な科目の予算と実績を朗読しながら説明し、支出の部も主な科目の予算と実績を朗読し、多少の増減はあるものの概ね予算どおりの決算であると説明した。他の科目も予算どおりの実績であると報告した。

議長は、第2号議案説明の後、監査報告を監事をお願いした。監事の樫野薫彦氏が『監査の方法の概要』と『監査結果の意見』を発表した。

議長は、第2号議案の承認を諮ったところ、満場異議なく可決決定した。

(尚、決算書類作成に際し、大滝幸子税理士より御指導いただきました。)

### 第3号議案・・・平成26年度 活動計画案決定の件

議長は、平成26年度の活動計画案を青木幸雄氏に説明を求めた。青木幸雄氏は別紙の活動計画案を朗読し、その中で今年も合同練習会を8支部で交替で担当して主催する方法を取り入れること。

会報の発行は年間5回行う事。会員名簿は1年1回発行する。

理事会は偶数月の第一木曜日の年6回、担当支部別に行う事。傷害保険を継続する事。大会の開催、合宿や支部の援助等。他は例年通りに別紙の計画案を実施したい旨を説明した。

朗読説明後、議長はその承認を議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

### 第4号議案・・・平成26年度収支予算案決定の件

議長は、平成26年度の収支予算案を熊谷勝登志氏に説明を求めた。

熊谷勝登志氏は、総会資料の収支予算案を科目別に昨年度の実績と照合しながら説明した。

説明の後に議長は承認を議場に諮ったところ、満場一致で可決承認された。

### 第5号議案・・・平成26年度借入金額の最高限度額決定の件

### 第6号議案・・・平成26年度役員報酬の決定の件

議長は、第5号、第6号議案を一括上程して、その説明を桐山博明氏に求めた。

桐山博明氏は、別紙の原案どおり、今年度も昨年度同様、借入金は0円とする。又、役員は無報酬とする、と説明した。議長は議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

以上をもって、第29回通常総会の議案全部の審議を終了したので、議長は退任の挨拶を行い、降壇した。

司会者から閉会を告げて散会し、新年懇親会へ移った。

平成26年 1月19日

全日本トライアスロンクラブ第29回通常総会  
『この議事録は原本の写しに相違ありません』

議 長 増野正樹  
他出席理事 16名



# ～ 100キロチャレンジマラソン～秋田 ～

千葉支部 土屋 幸康

2013年9月22日  
 制限時間13時間  
 成績：12時間46分45秒  
 総合：541位 年代別：16位  
 完走率：54.6%

昨年4月に70才を迎え選んだ記念大会が、9月22日開催の角館から鷹ノ巣「秋田内陸リゾートカップ」でした。秋田県の内陸を縦貫する鉄道に沿って、緑が豊かな山々、黄金の稲穂の中を走る雄大なる大会です。走力が落ちる一方の今日、リタイヤ覚悟の挑戦で21年振り（記録9時間26分）の出場でした。

練習開始は鹿野山合宿からで、ATCカップ後の一週間の身体に鞭を打ち、最大の難関の峠越えに挑みました。1日目52キロで脚を痛め、2日目は25キロの歩行練習になり、夕食時「そんなで100キロ走れるの？」と叱咤激励の声聞こえてきた。それで8月末には、午後の3日間100キロ走、そして直前には、大会スタート時刻のAM4:30に走る練習を一週間続けました。計画では時速8kmペースで走り、12時間30分にゴール予定でした。

早朝、4時30分にスタート、暗闇の「角館・武家屋敷」を走り抜けると広々とした田園地帯にでます。5キロ毎の通過点のタイムチェックを行い、コース全般を平均スピードで走る計画でした。しかし、早くも10キロ手前でトイレに行き、10キロでは5分遅れが生じてしまい、ペースアップをして、ようやく20キロで時間を取り戻す。20キロから50キロ迄は上り下りしながら、大会難所の大覚野峠(582m)を喘ぎながら歩かぬよう走り抜け、43キロからの下りはロスタイムを取り戻す為、キロ5分30秒にペースアップし、50キロでは予定より2分早く到着出来ました。前半のエイドでは時短の為、水分のみ摂取し、後半は空腹を感じる前におにぎり等を補給しました。足は未だ軽く、坂道を歩き出した選手を追い越し、日差しが強くなった中（体感温度30℃）溪谷を眺め、黄金の稲穂の中を只、足を止めずに黙々と走る。走り出して8時間20分、65キロの撮影ポイント「北緯40°ゲート（写真）」を通過。



また、母方大叔父が「小作争議」運動指導者として活躍した「阿仁前田」ではそっと合掌した。

後半はタイムチェックで3～4分遅れが続きましたが、90キロ前での登り坂300mは歩いてしまい、エイドでは10分間の大休止を取った。この後、95キロ迄のゆるい坂を上がると、約1キロの下り坂は自然とスピードが上がり、街中の声援に背中を押されて、鷹ノ巣名物「大太鼓」の打ち鳴るゴールテープを切る事が出来ました。“鹿野山合宿に感謝”

## ☆ 合同練習会：

月日	担当	場所	時間
1/12 (日)		4月5日(土)デュアスロン大会・ボランティア大募集中です、是非!!	
2/9 (日)		5月11日(日) 富士山バイク練習会、雨天順延18日(日)に!! 担当青木	
3/9 (日)	埼玉/城北	戸田市彩湖道満コース ラン30Km走	9:00～13:00
4/5 (土)	全支部	第14回彩湖道満デュアスロン大会	7:00～15:00
5/11 <sup>土</sup> <sub>18</sub> (日)	埼玉	富士山山麓バイク練習会 (東名足柄SA 7:00 集合)	9:00～17:00
6/8 (日)	城北	白石峠バイク練習会 担当 増野正樹	7:30～17:00
7/26 (土)	全支部	戸田市彩湖道満コース B、R：会場整備	9:00～13:00
8/9 (土)	全支部	第30回ATCカップ・トライアスロン大会 (彩湖道満)	6:30～16:00
9月		休会	
10/12 (日)	神奈川	横浜山下公園 R 担当 前田治男	9:00～13:00
11月		休会	
12/14 (日)	城南	六郷緑地公園「360分走」	9:00～15:30

### 【 新入会員 】

会員番号	氏名
471-2015-01	村上 武
472-2015-02	吉野 信比古
644-2015-02	鶴川 政良

### 【 住所変更 】

876-2014-02	賀持 隆一
186-2015-04	内田 英良

## ～ 達成感味わった別大マラソン ～

神奈川支部 高橋 定雄

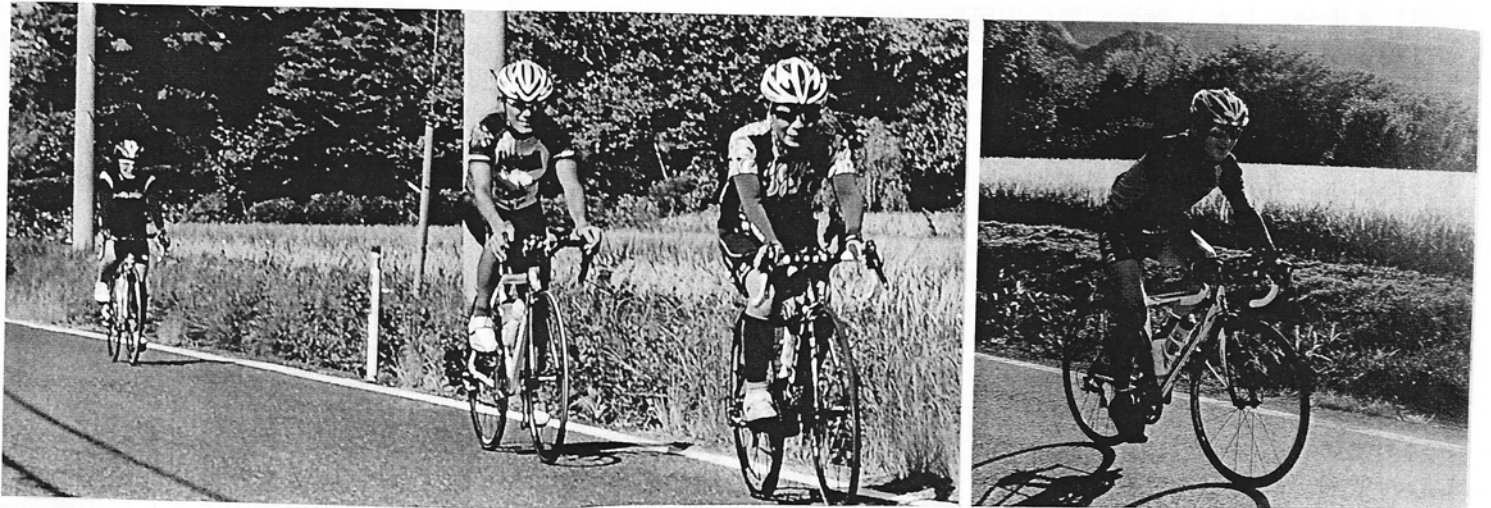


別府大分毎日マラソンを完走してきた。フルマラソンは50回以上出場し、完走している。しかし、今回は、特別にうれしいレースになった。それは多くの関門を潜り抜けたからである。

別大は、7つの関門がある。10キロ関門が49分である。15キロからは、5キロ25分刻みの関門である。私は3500人中2500人ぐらいのところに並んでいた。スタートして一分半ぐらいはスピードが出ない。最初の関門は3分残っているだけだった。25キロまでは23分台をキープしていた。後半になりキロ6分台まで落ち、完走も危ぶまれてきた。40キロ地点は3時間15分に通過した。関門まで5分の余裕があった。ゴールは3時間26分19秒。ぎりぎりの完走だった。7つの関門にプレッシャーを感じ必死で走り切った。最後まで収容車に乗せられることなくタイムと自分と必死に戦った。

市民ランナーにとって、一流選手と一緒にレースを走ることができるのは幸なことである。国際試合は、スタート地点も整備され走り易かった。霧や気温の高さに悩まされたが、達成感を強く味わった。ランナーにとって自分らしい走りができる時が最高の幸せである。

別府大分毎日マラソンに出ようと思ったきっかけは、東京マラソンに6回続けて落選したこと。神奈川マラソンクラブに20年近く出ているので違うレースに出たいと思ったことなどである。別府は参加資格がある。1年以内、3時間30分以内でフルを走った証明書がある。私は、第一回富士山マラソンを3時間27分で走った。コピーを送り許可を得た。中央走友会の仲間が誘ってくれたので便乗した。土曜日に羽田をたち別府に一泊した。日曜は、レースに出た後、湯布院まで足をのぼし素敵な温泉に浸かり楽しんできた。いま62歳だが、崖っぷちに立ったつもりでまた挑戦してみたい。



## 【 2014年 合宿案内 】

月	日	宿泊場所	練習場所	定員	費用 (1泊2食)	問合せ・申込先
3	29日(土) 30日(日)	静岡県、吉奈温泉 『さか屋旅館』 (温泉)	恋人岬、土肥、 戸田、大瀬崎 船原岬、仁科岬	16名	18,000円 (日曜、夕食付)	青木 義治
5 6	31日(土) 1日(日)	千葉県、岩井海岸 『民宿ごんべえ』 (風呂付)	鹿野山、 愛宕山	20名	11,000円	池田 喜一
8	23日(土) 24日(日)	千葉県、富津市 『釣宿さざ波館』 (鉱泉)	鹿野山、清澄山 鴨川、小湊、 養老溪谷、久留里	15名	13,000円 (日曜、夕食付)	青木 義治



## ～ 西豪州IM参戦記 (ロールダウンでハワイ出場権を取れました)

城西支部 小島 豊

(出発まで) 10月のハワイでは試泳中の衝突事故で受傷、それを秘しての出場の結果落車事故による無念のリタイヤと散々の目に遭ってしまったが、私としては年末の西豪州IMでハワイへの出場権を入手したいと思っていた。しかし、ハワイにおいてはもとより帰国後も多くの方々から「傷の状況から12月の出場は無理、傷が治っても練習する間がない。思い切ってキャンセルして年を越してから何処かの予選会を狙うべきだ」とのアドバイスをいただき、一時私も弱気になり「そうしようかな」と思ったものの、脳神経外科での2回にわたるCT検査で「異常なし」と診断され、整形外科では「骨折なし、打撲傷は回復に時間がかかるが、擦過傷は一番傷の深い右腰骨の部分も11月中旬には傷がふさがると言われ、通院の都度「何としても12月のレースには出たいんです」と言い続けた結果、「出場しても大丈夫」とは言われなかったものの「止めときなさい」とも言われなかったことを幸いに「よしもう大丈夫だ」と自分で勝手に決めつけてしまった。

というのも3年前6月に「いわきのショートレース」に申込み、レース前日の試走で落車し、鎖骨先端部を骨折し医師から手術を勧められたものの、そうなるも10月のハワイ戦には出場出来なくなるということで危険を冒し自然治癒を選択するという賭けに出た結果、医師がびっくりする程の回復力を示し、ハワイ出場を果たしたのみならずエイジ優勝してしまったという実績がある。今回も「右手の指が少し位不自由でも、ブレーキは他の4本の指でかけられるから何とかなるだろう」と安易に考え、また、西豪州へは連続8回目の出場でありコースは知り尽くしているし、風は強いがバイクもランも全くのフラットコースだから危険なことは無い筈だと高をくくっていたのも事実である。そしてホスピタリティーズの津川社長に出場者名簿を調べて貰ったところ、75～79才の部は出場者4名(日本人2名、米国人2名)、しかも米国人の1名は10月のハワイで優勝したジョン・ウェバー氏(75才)であり、既に次年度への出場権は持っている筈で、他の二人を抑えれば出場権が取れるという思いが膨らみ、やる気満々で出発することとなった。

(そして…) ホテルは例年通りスタート・ゴール地点至近のエスプラネードホテルでATC千葉支部の黒川氏と同室なので心強い。スイム試泳はハワイでの事故にこりてレース前々日の朝前方を注意しながら400mのみ。バイクはハワイ以降怪我の為、固定台での練習だけで実車していないので、黒川さんへのコース案内を兼ねて約40km、ランも1日2～3kmのジョグに止めてきたので、ここでは大事をとって試走なし。ところで前日のバイク預託時ウェバー氏に逢ったところ、「僕は既に出場権を得ているので頑張って完走して、ロールダウンで権利を取れ」と励まされてしまい嬉しさ半分、「ハワイでも落車さえしなければランで抜くつもりだったんだぞ」との悔しさ半分。しかし練習仲間の中野昭二氏から「ウェバーを抜こうと思っちゃ駄目だよ。まだ体調も良くないんだから。とにかく完走だけを考えて決してムキにならないようにね。頑張り過ぎて途中でダウンしたら元も子もないよ」と、くどい位にアドバイスされてきたことを思い出し、万感の思いをこめて「サンキュー」と握手。

(そして当日) 前日より海は穏やか、たいしたバトルにも合わず、1-29-20でスイムアップ。今の私としてはこの程度が目一杯といえようか。ところがその後がイケなかった。バイクのトランジットに16分を費やしてしまったのだ。その原因は右手親指の打撲傷にあった。ハワイでの落車の際、右手を着いて身体と自転車を守り、骨折なし、出血なし、打撲だけで済んだのだが、医師からは「親指の打撲傷は長くかかるよ」と言われていたが、その通りになってしまい、ウェットスーツを脱ごうとして足首のところ迄は問題はなかったものの、足首に装着したセンサーとくるぶしに引っ掛かり、どうしてもかわせないのだ。左手は船乗り時代の怪我で障害がのこっており上手く機能せず、右手が頼りなのだが、その右手のしかも肝心の親指が完治しておらず痛くて力が入らないのだ。ボランティアにスーツを引っ張って貰えばいいのだが、今年はボランティアの数が少なく助力を期待することは無理。やむなく親指ほど力はないが人差し指を使って押し下げようとしたが、上手くいかず四苦八苦して何とか成功。この間に何人に抜かれたことか。

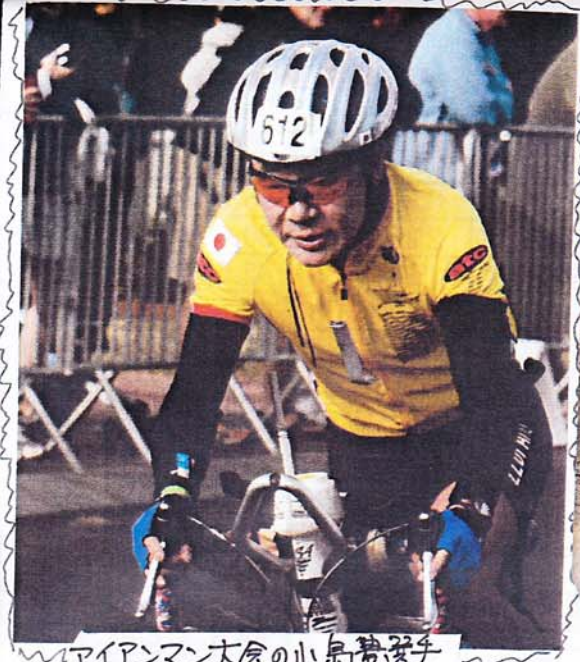
バイクに乗ってからは、それこそ死に物狂いでペダルを廻した。3周回のコースなのですれ違いの回数が多いものの老眼、乱視そして黄斑前膜とやらで手術を受けており顔やゼッケンの確認など困難で気持ちは焦るのみ。バイク後半は風が強まり海岸近くのコースでは時速22kmにまで落ちてしまったが、脱水症対策として固定台での練習でも1時間に1本の水分補給の習慣を身に付けていたので、昨年のように足がつってしまうという事態は避けられた。

そしてランへ。「ここまで大過なくやってきたのでランで潰れたのでは元も子もない」という自重を求める気持ちと、「少しでもいいから前に追いつきたい」という思いが錯綜したが、「何としてもハワイへの出場権を取りたい」ということで私としては珍しく自重する思いが勝ち、出だしは敢えて歩き、少しずつ走る距離を延ばしていった。その内、日も暮れてきて4周回のコースではあるが顔もゼッケンも全く識別出来なくなり、ウェバー氏に追いつくどころか、もう一人の米国人メイヤー氏や稲毛の名門クラブの清水氏に抜かれはしないかとの不安が生じてきて、少しずつピッチを速めて走るようになってきた。そして15-51-12でようやくゴール。昨年は足がつってしまい、制限時間16分前にヨレヨレになってゴールしたことを思えば上出来と言えるかも知れない。ところが・・・、とうにゴールしホテルに戻っていた黒川氏が心配してゴールまで迎えに来てくれ「小島さんのすぐ前に同じ年齢区分らしい背の高い外人がゴールしたよ」と教えられ大ショック。

ウェバー氏は私より相当前にゴールした筈であり、とするともう一人の外人メイヤー氏にも負けたということになったのでは? そうだとすればロールダウンなど私は関係なくなってしまう。正直言って翌朝の正式掲示まで気が気でなかった。そんなことから翌朝は発表前から掲示板の前をウロウロしてしまっていたが、発表されてびっくり。私のすぐ前にゴールしたのは、ずっと先に行っていると思っていたウェバー氏だったのだ。タイム差はわずか33秒、思わず「チクショーその位ならもうちょっと頑張れば」という気持ちになったが、よく考えてみれば、先方は既に出場権を手中にしており、何もムキになって走る必要はなく、のんびりとレースを楽しんだのかも知れない。そして現在は「よし、勝負は10月のハワイでつけよう」という思いで熱くなってきている。

(とは言いながら) 正月を迎えた現在のトライアスロンに対する私の気持ちは「早く来年(80才)になってくれないかな」というのが正直なところ。そして、これを「弱気」と見るか「強気」と見るか自分でもよく判りません。多分、10月のレース結果が私にそれを教えてくれるのではないかと思います。どうか今後とも、よろしく叱咤激励の程お願いします。





アイアンマン大会の小島選手



60km

65km



50km



52.5km



遅刻1TEの2"  
37.5km



2人揃って 62.5km



40km



60km



50km



42.5km



62.5km



新記録の80km



タイ記録の75km



37.5km



# 第19回 360分走

日時:2013/12/8 9:30AM~3:30PM

所:六郷土手駅,多摩川緑地公園グランド,2.5Kmコース  
 天候:曇時々晴,気温:11.2℃,湿度:39%,風:南東2m

順位	氏名	地区	年齢	距離 (Km)	時間
1	林 伸樹	神奈川	46	80.0	6:08:33
2	馬場 誠	182	34	75.0	6:07:00
3	梅津 功	神奈川	48	75.0	6:08:40
4	徳永 律	624	51	65.0	5:54:00
5	及川 義久	神奈川	48	65.0	6:05:55
6	佐藤 千夏	神奈川	43	62.5	6:14:34
7	佐藤 良一	神奈川	52	62.5	6:14:35
8	佐川 泰久	640	40	62.5	6:15:00
9	日下 正章	365	57	60.0	5:56:30
10	高木 清	015	57	60.0	5:56:50
11	福田 純一	神奈川	63	60.0	6:07:28
12	小田 邦裕	240	46	60.0	6:08:00
13	青木 幸雄	002	62	52.5	5:52:57
14	京谷 信一朗	148	56	52.5	6:06:10
15	加藤 恵美	埼玉県	48	50.0	5:47:09

順位	氏名	地区	年齢	距離 (Km)	時間
16	増野 正樹	021	51	50.0	5:50:50
17	樫野 薫彦	216	52	50.0	5:50:50
18	高梨 秀美	大田区	55	42.5	4:21:36
19	富田 由美子	神奈川	35	42.5	4:26:06
20	羽入 明	030	63	42.5	5:04:08
21	佐藤 誠	026	62	42.5	5:20:40
22	恩田 治枝	031	54	40.0	5:20:40
23	吉田 幸代	013	47	37.5	3:54:00
24	桐山 博明	018	68	37.5	5:33:10
25	高島 三重子	神奈川	55	37.5	6:00:47
26	日下 久美枝	366	57	35.0	5:32:10
27	高橋 明宏	759	45	35.0	5:48:00
28	高井 一徳	035	44	30.0	5:25:30
29	京谷 恵治	734	54	17.5	1:30:00
30	池川 恵子	470	43	10.0	1:25:30

(同じ距離の場合はタイムの早い順)

## ★ 会報への投稿をお願い致します。

ATC開催のレースや、ATC以外のレースに参加された方の手記をお願い致します。  
 電子ファイル(ワード、エクセル等)にて作成していただければ、枠組み構成等の編集は当方にて行います。  
 右記アドレス宛、添付ファイルとして送付願います。宛先:岡伸夫 e-Mail: nobuo.oka@nifty.com



## 第30回 宮古島大会 出場選手

氏名	年	出身
河原 勇人	36	東京都
松丸 真幸	39	茨城県
桑原 寛次	33	沖縄県
益田 大貴	34	神奈川県
谷 新吾	34	愛知県
藤原 裕司	50	937
山本 真二	32	沖縄県
平松 弘道	33	神奈川県
古代 眞琴	59	東京都
近藤 真彦	49	東京都
野口 泰	44	547
野口 佳子	43	548
村上 武	41	471
西澤 貴史	43	367
熊谷 洋一	44	東京都
辻谷 明久	52	埼玉県

氏名	年	出身
樫野 薫彦	52	216
デンジャラス ノッチ	48	東京都
増野 正樹	52	021
竹中 基晴	55	180
川杉 直樹	49	549
衛藤 勝己	52	東京都
田村 英之	43	東京都
新倉 薫	39	東京都
清本 直	54	東京都
清本 美幸	52	東京都
山倉 紀子	50	東京都
吉川 直人	58	東京都
巖淵 京	26	551
佐川 泰久	41	640
吉田 悟	53	神奈川県

氏名	年	出身
保坂 修	46	神奈川県
藤井 淳	55	635
岡崎 雄一	62	神奈川県
須山 富雄	45	758
羽入 明	63	030
恩田 治枝	55	031
賀持 隆一	49	876
蒔田 俊史	38	埼玉県
高井 一徳	45	035
小林 毅信	38	897
中川 和男	43	940
中川 美樹	40	941
高木 清	58	015
森田 孝次	39	品川区